

飼料価格高騰対策事業

R5当初予算額 1,222,745千円

○畜産農家の現状

肉用牛：飼料価格高騰および和牛子牛価格の下落により経営が不安定化

酪農：飼料価格高騰により生産費が収入を上回り、経営収支が赤字となっている

養鶏：飼料価格高騰に加え全国的な高病原性鳥インフルエンザの発生により経営が不安定化

○飼料価格の動向

・配合飼料

R3年度第4四半期に83千円/tであったものが、R4年度第3四半期には101千円/tまで急上昇し、生産者負担が高止まっている。

・輸入粗飼料

R4年9月補正以降も輸入粗飼料価格は上昇しR3.8時点で67千円/tであったものが、R4.11月時点の購入単価は100千円/t（R3.8月比約50%増）。12月以降為替相場が円高傾向で推移したが依然として価格が高止まっており、R5.1月時点96千円（R3.8月比43%増）の状況。

- 危機的な状況が長期的に継続していることに加え、飼料費の高騰が今後続くことが見込まれるため、経営継続できるようR4年度に引き続き支援を行う必要がある。
- R4補正予算編成時点よりも飼料価格は上昇しているが、円高等により直近の飼料価格は少額ながら下落傾向にある状況等を踏まえ、補助単価についてはR4補正と同額とする

(1) 畜産配合飼料価格高騰対策事業

配合飼料価格高騰に伴う生産者負担増額の一部支援

- 対象 配合飼料価格安定制度に加入している本県畜産経営者
- 補助率 3,000円/t（定額）× 369,204t
（うち生産者負担金の一部支援300円/t、配合飼料購入費増額の一部支援2,700円/t）

○補助の目安

畜種名	農家戸数 (件)	1戸当たり 補助額(円)
成鶏	54	8,604,833
ブロイラー	8	12,076,125
肉牛	659	364,138
乳牛	263	349,574
豚	56	3,508,393
馬・キジ	6	2,398

- 事業費 1,111,565千円
- 対象期間 R5.4月～R6.3月

(2) 酪農輸入粗飼料価格高騰対策事業

輸入粗飼料価格上昇への補助

- 対象 本県酪農家
- 補助率 5,000円/t（定額）× 22,116t
- 補助の目安（1戸当たりの酪農家への補助額）
558千円（県内の平均飼養頭数規模 約42頭）
- 事業費 111,180千円
- 対象期間 R5.4月～R6.3月

事業実施主体に対して、一定割合の概算払を行い、
農家への支援を速やかに実施する

